



学 会 通 信

第 98 号

2021 年 5 月 24 日発行

目次

2021 年度 第 28 回日本教育メディア学会年次大会ご案内【第 1 報】	… 2
ICoME2021 のご案内	… 5
2021 年度 第 1 回研究会のご案内（オンライン開催）	… 7
『教育メディア研究』特集号「これからの学校教育における ICT の活用と ICT を活用した評価」募集のお知らせ	… 8
理事会（定例） 議事録	… 8
学会費納入のお願い，入会者・退会者	… 11

2021 年度 第 28 回日本教育メディア学会年次大会ご案内【第 1 報】

2021 年度日本教育メディア学会第 28 回年次大会にあたってのご挨拶

大会実行委員長 森田裕介（早稲田大学）

2020 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、教育に携わる多くの方が教育メディアの有用性を再認識したと伺っております。教育メディアに関する研究知見の集積と発信は、これからもますます重要になることでしょう。

そのような状況下、第 28 回日本教育メディア学会年次大会を、2021 年 12 月 18 日（土）と 19 日（日）に開催する運びとなりました。会場となる早稲田大学は、2000 年代の比較的早い時期から教育メディアを授業で活用してきた経緯を有しております。2019 年度までに全学で 1600 科目がオンライン化されていたことも幸いし、2020 年 4 月には CTLT（Center for Teaching, Learning, and Technology）が拠点開設され、授業実践に関する知見を教員間で共有しながらコロナ禍を乗り越えてきました。本大会においても、有益な研究知見の共有や議論を通してよりよい学びの創造が広がっていく、そんなコミュニティ構築の機会を提供いたしたく、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

なお、開催の形態につきましては、現地開催（一部オンライン）と全面オンライン開催の両方の実施可能性を考慮しながら準備を進めております。大会実行委員会としましては、開催の形態に関わらず、会員の皆様にとって安全で有意義な大会となるよう、万全の準備を進めて参る所存です。また、開催内容につきましても、今後の情勢が読めないため詳細は追ってご連絡させていただくこととなっております。今しばらくのご猶予をいただけますよう、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1.日時と場所

2021 年 12 月 18 日(土), 19 日(日)

会場：早稲田大学（早稲田キャンパス）〒169-0071 東京都新宿区戸塚町 1 丁目 1 0 4

アクセス JR 山手線 高田馬場駅から徒歩 20 分

西武鉄道 西武新宿線 高田馬場駅から徒歩 20 分

東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩 5 分

2.大会プログラム

①コロナ禍への対応について

新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、対面機会ありの一部遠隔・全面遠隔のいずれかで開催します。判断は 8 月中に行います。対面開催の場合であっても、座席の間隔をあける、飲食をしない等、開催校の感染防止策に即した実施形態とします。

②大会日程について

1 日目	午前：理事会
12/18（土）	13:00-13:50 総会

オンライン開催	14:00-14:50 大会企画1 オープニングセッション 15:00-17:00 大会企画2 シンポジウム「教育改革と教育メディア研究」(登壇者調整中)
懇親会	18:00- 懇親会 (対面で実施可能であれば構内で開催)
2日目 12/19(日) 対面あるいは/ オンライン	9:30-11:30 一般研究発表(1) 11:30-12:30 昼食 12:30-14:30 課題研究 14:40-16:40 一般研究発表(2)

3. 課題研究プログラム

以下の3件のテーマについて報告を募集します。

課題研究テーマ1: 1人1台学習者用情報端末とメディア・リテラシー

学習者用情報端末、高速インターネット、学習支援システムなどが教育現場に整備されることで、学習者が「意図をもって構成されたメディア」に主体的にアクセスして学ぶ機会は増えると考えられます。また、得られた情報や自分の考えについてメディアを通じて表現・発信して学ぶ機会も増加するでしょう。さらに、家庭に端末を持ち帰り利用することを機に、家庭でのメディア・リテラシー育成のあり方も検討していく必要がありそうです。こうした状況において求められるメディア・リテラシーに関する教育と研究のあり方について議論することが重要だと考え、課題研究テーマ案として提案いたします。

課題研究テーマ2: 教育メディア研究からみたプロジェクト学習

近年、様々な段階や場面において学習者が主体的に探究課題に取り組む実践が展開されており、それらの中には、既存の研究領域にとらわれない挑戦的な実践が見られます。このような様々な形態の探究的な学習を「プロジェクト学習」という観点から広く捉えることによって、体系的な知見の蓄積に発展すると考えられます。また、教育メディア学会には、ICTを含む様々なメディア活用による効果検証やその活用方法、さらには学習環境のデザインまで教育メディアを軸とした幅広い知見の蓄積があり、教育メディア研究の視点からプロジェクト学習の理論の発展や精緻化、今後の展開も含めた議論にも展開可能であると考えられます。以上から、プロジェクト学習の形態に近い様々な実践を募集し議論する場を設けるため、本課題研究テーマ案を提案いたします。

課題研究テーマ3: GIGA スクール時代のデジタルコンテンツ

学校への1人1台端末環境の整備により、様々な活用の工夫について、研修や事例の報告が行われてきている。学習者用デジタル教科書やNHK for School、その他デジタル教材など、端末活用を視野に入れた授業や家庭学習で使える様々なコンテンツが見受けられ、実践での選択肢も増えている。そのような中、これらコンテンツにおける教育実践はもとより、デジタルコンテンツの開発・評価、デジタル教科書のあり方、カリキュラムの開発、オンライン授業に関する知見等に関して幅広く検討したい。

4.大会までのスケジュール・発表申し込み

- 8月 1日 参加申し込み・課題研究プロポーザル受付開始
- 8月 31日 課題研究プロポーザル締切
- 10月 1日 課題研究結果通知・一般研究発表申し込み開始
- 10月 31日 課題研究・一般研究原稿提出期限, 事前参加費振込期限

○発表申し込みについて

- ・発表は会員であることが必須です。発表申込時点までに入会手続きを済ませてください。
- ・会員1名が発表できる件数は、課題研究1件・一般研究1件の計2件までです。英文での提出も受け付けます。英文の場合、発表も英語で行います。
- ・現地開催、オンライン開催に関わらず、口頭発表の実施をもって発表とします。Zoomを使用できる環境をご用意ください (Zoomのアカウントは学会側で提供します)。

5.参加費について

参加申し込みは、学会員・非学会員とも学会年次大会 Web サイトよりお申し込みください (8月案内開始予定)。オンライン開催の場合、振り込みを確認した後、ZoomのミーティングIDとパスワードを通知しますので、事前振り込みにご協力ください。

- ・参加費は、昨年通り、以下の通りとします。

会員	3000 円(事前), 4000 円(当日)
学生会員	1000 円(事前), 2000 円(当日)
非会員	4000 円(事前), 5000 円(当日)
※ただし、非会員の現職教員は無料	
学生非会員	2000 円(事前), 3000 円(当日)

6.その他・お問い合わせ

前回大会に引き続き本大会において、発表予稿集は刊行せず、会員の皆様に PDF ファイルの形での配布となります。事前にメールにてダウンロード先の URL をお送りします。対面開催の際は、ご自身の端末等を持参するか、事前に学会の Web からプログラムを印刷してきてください。

年次大会に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

第 28 回年次大会実行委員会事務局

メールアドレス jaems.taikai2021@gmail.com

ICoME2021 のご案内（オンラインでの開催）

研究委員会（国際研究会 ICoME 担当）

★ICoME2021 のご案内

ICoME (International Conference for Media in Education) は、今回で第 19 回目の実施となります。日本教育メディア学会 (JAEMS)、韓国教育情報メディア学会 (KAEIM)、中国教育工学会 (CAET)、アメリカ TCC (Technology, Colleges and Community) オンラインカンファレンスとの連携によって、開催される国際学会となります。

★オンライン開催への変更について

ICoME2021 は、今夏に韓国の全南大学校にて開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、現地で開催することが困難であると判断され、ICoME2020 に引き続きオンライン開催へと変更することになりました。このような状況であるからこそ研究を止めることなく、学習者に質の高い教育実践を提供できるよう、各国研究者と有意義な議論の機会としたいと考えています。奮ってご参加いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

■日時：2021 年 8 月 18 日（水）－ 20 日（金）

■場所：オンライン開催（ホスト：KAEIM, Chonnam National University, Gwangju, Republic of Korea）

■テーマ：Online Education is inferior to Face to face education?

※教育メディアに関するその他の発表も広く募集しています。

■タイトルおよび登録

Concurrent Session：2021 年 5 月 31 日（木）※延期しました。

Roundtable Session：2021 年 5 月 31 日（月）※延期しました。

■発表受付フォーム：<https://forms.gle/H63364hAmGPzUU4m8/>

※学会ウェブサイトが確定されましたら、こちらでもお知らせさせていただきます。

■プログラム

18 日（水）：Opening Ceremony / Keynote speech / Concurrent Session

19 日（木）：Keynote speech / Concurrent Session / Round Table (Parallel Forum)

20 日（金）：Keynote speech / President Talk / Closing Ceremony / Field Tour

※プログラムは直前まで変更の可能性があります。

■参加費（予定）

教員／初等中等教育学校教員／会社員／その他	無料（予定）
学生（修士・博士課程の学生）	無料（予定）
学生（学部生）	無料（予定）

■スケジュール（仮）

Second Call for Concurrent Presentation and Roundtable	May 31, 2021
Call for Media Showcase	June 30, 2021
Proceeding File Due	June 30, 2021
Conference Date	August 18-21, 2021

■プレゼンテーションの種類と論文等の提出：

（1）コンカレントセッション

- ・発表時間：25-30分
- ・プロポーザル：100語以上
- ・原稿枚数：論文フォーマットを利用の上、4-8ページの範囲※論文フォーマットは後日公開

※本原稿は、the International Journal for Educational Media and Technologyに掲載されます。

（2）ラウンドテーブルセッション（優秀発表に対しヤングスカラーアワードを授与）

- ・1セッションの時間：50分（1セッションに複数の発表が予定されています）
- ・プロポーザル：50語以上
- ・原稿枚数：2ページ

※活発な議論のために教員や学生など立場を問わずご参加ください。

（3）メディアショーケース（優秀発表に対しメディアデベロッパー賞を授与）

- ・プロポーザル：50語以上
- ・原稿枚数：原稿提出の必要はありません。（プロポーザルの提出のみ）

※ご自身が開発したメディアアプリケーションについてご発表いただきます。チームでの発表を奨励しますが、一人で複数のチームから発表はできません。

■問い合わせ

ICoME2021に関するお問い合わせは、以下のメールアドレスをお願いいたします。

icome.submit@gmail.com（英語のみ）

2021 年度 第 1 回研究会のご案内（オンライン開催）

テーマ「新しい生活様式における教育とメディアの活用／一般」

日 時 2021 年 7 月 31 日(土) オンライン開催／担当：富山大学・黒田卓

新型コロナウイルスの猛威は、私たちの生活様式を大きく変えてきています。学校教育においても、学びを止めないための様々な工夫を行いながら、新しい時代の学びのあり方を模索しています。

GIGA スクール構想の前倒し実施に伴い、2020 年度末までに、すべての小、中学校において、一人 1 台端末の整備が行われました。多くの都道府県では、高等学校でも同様の整備が進められました。デジタル教科書の利用も、急速に普及してきています。これらにより、子どもたちの学びのあり方も、大きく変わっていくことが考えられます。これからの学びを考えていく上において、メディアの活用は、すでに避けては通れない状況になっています。

この 1 年だけを見ても、メディアを用いた、学びを止めないための実践が、各地で行われてきています。先進的な実践や、新しいメディアの活用方法なども提案されてきています。

本研究会では、このような取り組みや、新しいメディア活用研究を多くの皆様にご報告いただき、今後の可能性を探っていきたいと思います。実践研究、開発研究、学習効果分析、新たな時代の学びに求められる能力など、幅広いご発表を募集いたします。

学校教育だけでなく、生涯にわたる学びや生活や学習に困難を有する子どもたちに対するメディア利用などについても議論を深めていきたいと思います。

- 発表申込開始日 2021 年 5 月 17 日（月）
- 発表申込締切日 2021 年 6 月 11 日（金）
- 原稿送付締切日 2021 年 6 月 25 日（金）
- プログラム公開日 2021 年 7 月 7 日（水）
- 参加申込期間 2021 年 7 月 7 日（水）～2021 年 7 月 26 日（月）
- 研究会当日 2021 年 7 月 31 日（土）

第 2 回研究会(国内)は、2022 年 2～3 月で調整中（担当：中村学園大学・山本朋弘）

『教育メディア研究』特集号「これからの学校教育における ICT の活用と ICT を活用した評価」募集のお知らせ

編集委員会

『教育メディア研究』特集号「これからの学校教育における ICT の活用と ICT を活用した評価」
(Vol.29, No.2) 募集のお知らせ

締切 2021年10月29日(金)

2020年度の新型コロナウイルスの影響によって、GIGAスクール構想が前倒しされ、ほぼ全ての小中学校でタブレットPCが、一人一台整備されました。2021年度は、その活用が進みます。これにかかわる研究が、各地で行われつつあると思います。また、GIGAスクール構想の中で、クラウドにあげた学習者情報の評価場面での活用などの試みも行われることが想定されます。本特集号では、これらのことを背景に、新しい環境におけるICT活用についての研究、ICTを活用した評価についての研究などを、幅広く募集したいと思います。理論研究、実践研究、調査研究などさまざまなアプローチから、今後に生かせる幅広い成果を期待しています。

また、同時に一般論文も広く募集いたします。一般論文は随時受け付けています。多くの会員からの投稿を期待しています。

理事会(定例) 議事録

第9期 第6回理事会(定例) 議案

[日時] 2021年4月18日(日) 13:00-16:10

[場所] テレビ会議(Zoom)で結び実施

[出席者]

会長:小柳和喜雄

理事:宇治橋祐之, 中橋雄, 永田智子, 泰山裕, 黒上晴夫, 佐藤慎一, 後藤康志, 今野貴之, 村上正行, 岸磨貴子, 久保田賢一, 影戸誠, 山本良太, 稲垣忠, 堀田龍也, 渡辺雄貴, 岩崎千晶, 寺嶋浩介, 齋藤ひとみ, 関戸康友, 中川一史, 鈴木克明

欠席:堀田博史

監事:佐々木輝美, 浦野弘

事務局:池尻良平

<審議・報告事項>

(1) 理事の退任の件 (事務局)

小柳会長から、鄭仁星理事の退任について提案があり、審議の結果承認された。

小柳会長から、市川尚理事の退任について提案があり、審議の結果承認された。

小柳会長から、森田裕介氏の理事就任について提案があり、審議の結果承認された。

(2) 入会者・退会者・除籍者について (事務局)

副事務局長より、前回理事会以降の入会者・退会者・除籍者について説明があり、審議の結果承認された。

(3) 2020年度事業報告・2021年度事業計画について (事務局)

事務局長から、「2020年度事業報告・2021年度事業計画案」が示された。

(4) 2020年度決算報告・2021年度予算案について (事務局)

事務局長から、「2020年度決算報告・2021年度予算案」が示された。

佐々木監事から、2020年度決算報告の監査はまだ完了していない旨、今後の情勢を考慮しつつ可能な限り対面での監査を考えている旨、難しい場合は郵送での監査を検討している旨について説明がなされた。

山本理事より、国際委員に関して、20年度決算資料の差額について指摘があり、修正することとなった。

続いて、資料2-4に基づいて、21年度予算案について報告があった。

中橋理事より21年度前年度決算の額について、確認があり、修正することとなった。

修正後、議事録ともに共有する旨、報告された。

(5) 編集委員会 (国内担当)

当日資料に基づき、論文誌の発行状況について報告された。

J-STAGEの登載に関して、抄録を二次利用可にすること、XML化については印刷会社に負担がかからない範囲で協力することについて提案があり、審議の結果承認された。

査読システムを外注化することについて提案があり、真偽の結果、国際ジャーナルの査読システムとの関係も踏まえて調整する方針で承認された。

(6) 編集委員会 (国際担当)

資料に基づき、論文誌の発行状況について報告された。

(7) 研究委員会 (国内担当)

資料に基づき開催報告と2021年度の開催予定について報告され、審議の結果承認された。

(8) 研究委員会 (国際担当)

資料に基づき、ICoME2020 のオンライン開催予定について報告された。

また、ICoME における Proceedings の継続的なアーカイブ化の提案があり、審議の結果承認された。

(9) 年次大会委員会

資料に基づき、年次大会の開催形態、企画、参加費、スケジュールが提案され、審議の結果承認された。

(10) 企画委員会 (寺嶋)

資料に基づき、年次大会での企画委員会セッションが提案され、審議の結果承認された。

(11) 広報委員会

資料に基づき、Web の更新状況について報告された。また、学会通信のスケジュールと台割りについて報告があり、審議の結果承認された。

(12) 日本教育メディア学会論文賞選考委員会

当日資料に基づき、論文選考手順について報告された。

(13) 選挙について

小柳会長より、選挙管理委員として宇治橋理事、久保田理事、鈴木理事を任命することについて提案され、審議の結果承認された。

(14) 日本教育メディア学会の若手研究者の研究奨励と会員の拡大に関する提案

資料に基づき、若手研究者の研究奨励と会員の拡大案について提案があり、審議された。対象者や審査方法については、引き継ぎ検討することが承認された。

(15) 会長より報告事項

- ・ ICET の後援について報告された。
- ・ 査読システムの改修とマニュアル作成、予算措置の状況について報告された。

(16) その他

- ・ 次回理事会開催について
12月18日(土)午前中、オンラインにて開催。

以上

学会費納入のお願い、入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2021年度（2021年4月1日から2022年3月31日）の年会費（正会員7,000円、学生会員4,000円）が未納の方は、会員システムからお手続きください。

論文誌は、会費が納められている会員に対してのみ発送しております。まだ納付されていない会員につきましては、納められたことを確認した後、発送いたします。

銀行振り込みをご希望される場合は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます）。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、会員マイページにログインの上、登録情報の確認をよろしくお願いいたします。

また、まだ会員システムからマイページへのログイン登録がお済みでない方も、この機会にマイページ登録をお願いいたします。

【入会者・退会者・除籍者】※敬称略

新入会員・正会員（5名）・・・伊藤俊樹、近藤功明、小林博典、西田季里、稲垣善律

新入会員・学生会員（3名）・・・後藤壮史、久保寺将太、袁通衢

退会者・正会員（16名）・・・飯島千恵子、薄井直之、金子俊明、荻宿俊文、菊地紀子、菊池尚代、来嶋洋美、坂元章、白鳥義明、鈴木庸子、高田浩二、高橋薫、鳥越和貴、

東平福美, 宮城祐太郎, 宮武英憲

退会者・学生会員 (1名)・・・春日未来

退会者・購読会員 (2団体)・・・東京情報大学情報サービスセンター

大阪大学附属図書館

除籍者・正会員 (7名)・・・生田幸士, 伊藤朋子, 小川隆夫, 下郡啓夫, 土屋衛治郎,

奈良堂史, 林向達

除籍者・学生会員 (3名)・・・陳セイセン, 鄭漢模, 渡辺友美

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条の改正が承認されました。改正された規定では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。

会費の納入状況についてご不明な点がありましたら、事務局 (office@jaems.jp) までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

(1) 正会員, 学生会員, 団体会員ならびに購読会員が、会費を3年間滞納したとき、その年度末をもって除籍され、会員の資格を喪失する。

(2) 除籍された元会員が再入会するとき、滞納会費の納入を要する。

会員総数 347名・16団体

名誉会員 : 4名

正会員 : 286名

学生会員 : 37名

団体会員 : 6団体

購読会員 : 8団体

(令和3年5月14日 現在)

日本教育メディア学会 事務局	広報委員会
〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 兵庫教育大学 永田智子 研究室内 E-mail : office@jaems.jp 学会ホームページ URL : http://jaems.jp/	委員長 渡辺雄貴 (東京理科大学) 副委員長 岩崎千晶 (関西大学) 委員 井ノ上憲司 (大阪大学) 遠海友紀 (東北学院大学) 竹中喜一 (愛媛大学) 多田泰紘 (京都橘大学)